

第 40 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009 年 11 月 21 日～23 日（金沢大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：物流計画（1）	
日付：11月21日（土）曜日、セッション時間：9：00～10：30	
司会者名（所属）：竹林 幹雄（神戸大学）	
討 議 内 容	<p>セッション全体： 物流計画における数理計画モデルの提案と性能評価、SCM モデルの提案など、主に数理モデルの挙動に関する質問が多かった。また、現実への対応を重視したアプローチが多かった。</p>
	<p>（121）玉川 大（京都大学）： ・参入時の価格が安定しない、退出時での価格低下がなぜ生じているのか？：モデルの構成の問題 ・マルチエージェントモデルとして表現するメリット：モデルの拡張性が優れている。 ・価格を戦略としている理由 ・価格を学習するのであれば、あまり変化しないのではないか？ ・価格決定の際、現在の状況が反映されていない。</p>
	<p>（122）佐々木 英人（京都大学）： ・計算時間は？ ・PDGA が2分割よりふやせばよくなる？ 必ずしもよくなるのではないか。 ・GA モデルのオリジナルティは遺伝子の構成の工夫なのか？</p>
	<p>（123）繁田 健（京都大学）： ・式(24)は一般的衡の市場清算条件式と等価では？ ・在庫ショートは考えていないのか？</p>